

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	清野 絵	所属	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
研究会等名称	就労困難者のキャリア心理学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数（会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください）</p> <p>会員 5名（うち認定心理士 1名） 非会員 1名（うち認定心理士 0名）</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 （実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください）</p> <p><実施内容> 公開研究集会 1 回を開催した。詳細は下記のとおり。また、会の開催および計画作成と実施のための準備委員会を開催した。</p> <p>公開研究集会：就労困難者のキャリア心理学研究会 第 2 回公開研究集会 日時：2017 年 3 月 18 日(日) 14:30～17:00 場所：オフィス東京 テーマ「障害のある社員と共に創る働く場～特例子会社における取組の実践から考える～」</p> <p>講演「共に創る働く場」障害者職業総合センター 武澤友広 話題提供 1 「認知に障害がある人の支援に認知心理学ができること」 障害者職業総合センター 宮澤史穂 話題提供 2 「認知機能に関する知見を活かした就労支援技術の提案可能性を探る～認知機能の評価と支援技術の提案をつなぐ～」 障害者職業総合センター 武澤友広</p> <p><成果> 公開研究集会では、障害者雇用の実践についての講義と、発達障害や精神障害のある人のように認知機能に障害がある人の職業訓練や環境調整等の就労支援について、認知心理学ができることについての話題提供、参加者によるディスカッションを行った。参加者は、心理学や教育学の研究者、支援者、当事者家族であった。この集会では、特例子会社における障害者支援の実践を踏まえ、心理学、教育、福祉、等の研究者、関係者が研究や実践について議論、情報交換を行うことができた。</p> <p><将来計画> 来年度は、引き続き、①公開研究集会の開催、②勉強会の開催、③メーリングリストによる情報交換を行う予定である。</p>		

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
就労困難者のキャリア心理学研究会				
研究集会開催日： 2018年3月18日(日)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	清野 絵	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 慶應義塾大学 SFC研究所	○	○
2	宮澤 史穂	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構	○	
3	武澤 友広	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構		
4	榎本 容子	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構		
5	安田 孝	松山東雲女子大学 人文科学部	○	
6	他非会員1名			
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

(様式5)

2018年 3月19日

日本心理学会研究会

2017年度会計報告書

研究会名称 就労困難者のキャリア心理学研究会

研究会番号 研16021

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
2018年3月18日	会議室料	¥9,720
	スクリーン貸借費	¥7,560
	プロジェクター貸借費	¥8,640
	レーザーポインター貸借費	¥1,080
	資料印刷費	¥3,200
支出合計		¥30,200